

前 文

1. 八幡浜・大洲地方拠点都市地域の整備の基本理念

八幡浜・大洲地方拠点都市地域（八幡浜市・大洲市・西予市・内子町・伊方町）では、平成5年に整備基本計画を策定し、構成市町が連携しつつ各種の事業を推進し、幹線道路をはじめとする基盤整備や各種公共施設等の整備により、拠点都市地域としての機能を高めてきた。

また一方では、人々のニーズに応える商業・産業活動の拠点、生産機能の拡充・高度化が進む産業社会を主導する活動拠点、圏域で培われた自然と歴史を活かした文化活動の拠点として、さらには活力が低下しつつある地域の牽引力としての役割を担ってきたところである。

しかしながら、基本計画策定から今日までの概ね10年間を振り返ると、バブル経済崩壊以後、当地域を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。計画していた各事業においても、予定どおりに進捗していないものが少なくなく、今後も、引き続き計画的に整備を進めていく必要がある。また、少子・高齢化に伴う人口減少が続いており、若年層を中心とした人口定住を促進し、地域全体の活性化を図ることも大きな課題となっている。

こうした状況を背景に、本計画は、社会生活圏域としての結びつきが強い八幡浜・大洲地方拠点都市地域において、地域の伝統・文化・産業を最大限に活用し、都市基盤や都市機能の充実強化及び居住環境の向上を図ることにより、若者に希望と魅力のある「職・住・遊・学」機能が調和した生活空間を創造することを目的として策定するものである。

その推進にあたっては、環境の保全、地域の雇用促進、農山漁村の整備の促進等にも配慮しながら、活力に満ち潤いとやすらぎのある拠点都市地域の形成を目指す。

2. 地方拠点都市地域の概要

(1) 地方拠点都市地域の名称

八幡浜・大洲地方拠点都市地域

(2) 中心都市名

八幡浜市、大洲市、西予市

(3) 地方拠点都市地域の構成

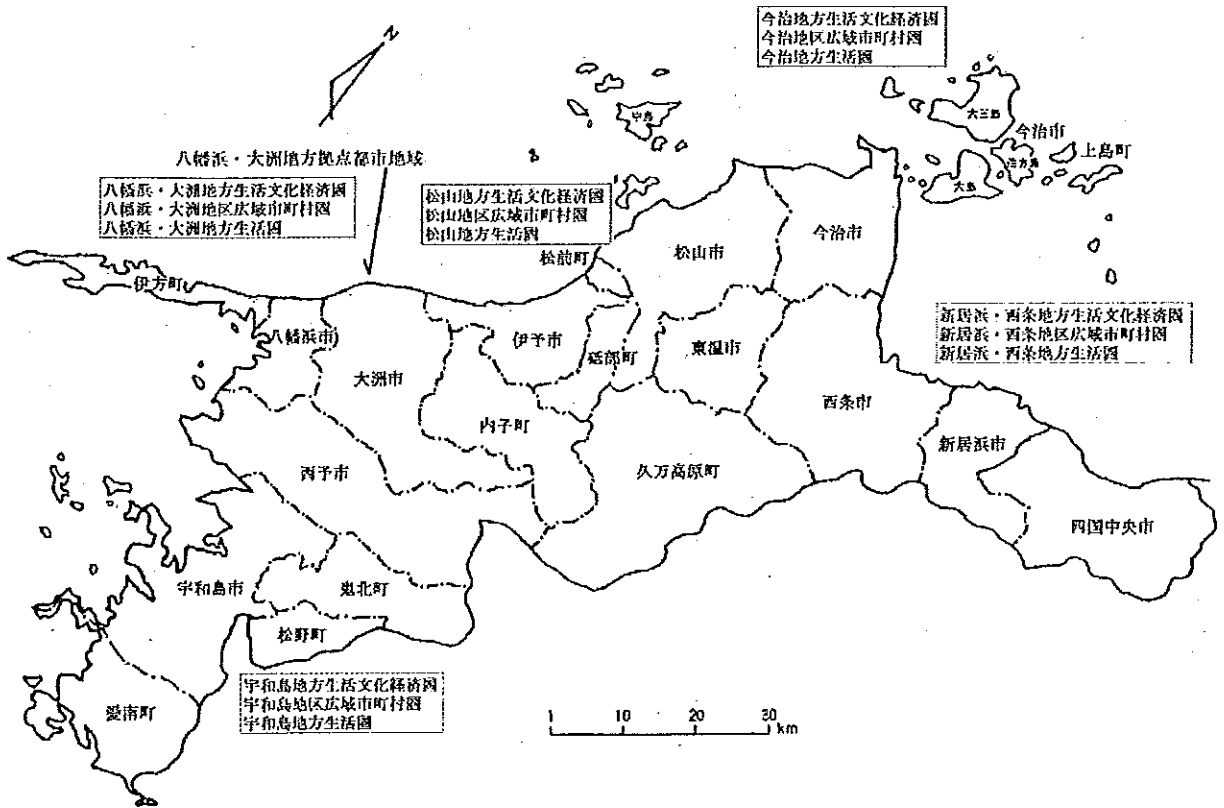
当地域は、中心都市である八幡浜市、大洲市、西予市及び内子町、伊方町の3市2町（5市町）から構成される。

市 町 村 名		人 口 (人) (平成12年)		人口増減率 (%) (平成7年～平成12年)		面 積 (k m ²) (平成12年)	
新市町名	旧市町村名						
八幡浜市	八幡浜市	44,206	33,285	△6.8	△7.3	132.96	95.95
	保内町		10,921		△5.2		37.01
大洲市	大洲市	52,762	39,011	△2.0	0.2	432.20	240.99
	長浜町		9,266		△9.0		74.79
	肱川町		3,211		△2.0		63.30
	河辺村		1,274		△12.6		53.12
西予市	三瓶町	47,217	9,061	△3.7	△5.0	514.78	41.36
	明浜町		4,678		△8.6		25.98
	宇和町		17,550		0.4		132.53
	野村町		11,093		△5.1		187.60
	城川町		4,835		△6.9		127.31
内子町	内子町	20,782	11,231	△4.1	△4.8	299.50	121.17
	五十崎町		5,720		△0.1		38.49
	小田町		3,831		△7.9		139.84
伊方町	伊方町	13,536	6,569	△8.5	△8.1	94.34	28.63
	瀬戸町		2,813		△9.4		32.09
	三崎町		4,154		△8.4		33.62
3市2町		178,503		△4.4		1,473.78	

(人口：国勢調査、面積：国土地理院資料)

※本表は、合併後の市町の規模を示すため、合併前の統計データを基に作成したものである。

(4) 位置图



(5) 圏域图

